

機器の信頼性向上を推進

「平成29年度通常総会」開催 JEAS(日本万引防止システム協会)

日本万引システム協会
(東京都新宿区、戸田秀雄会長、TEL03・3355・2322、以下JEAS)は、東京・千代田区の主婦会館プラザエフで、「平成29年度通常総会」を開催。新活動宣言の発出などの取り組み内容とともに、今年度は機器の信頼性向上に向けた対策などを推し進めていくことなどが報告された。

議事の進行に先立ち、戸田会長が挨拶。来賓などの参加者に謝意を示した後、万引犯罪の現状を紹介。刑法犯認知件数の減少傾向が続く中、万引犯罪の減少傾向は弱く、

現在の全刑法犯認知件数は、平成14年の4・9%から昨年は11・3%に増加。こうした状況に対しても、「高齢者犯罪の増加や組織的万引による高額被害事案の増加など、万引犯の複雑化、悪質化が目立つてきている」と言及。そして、「組織犯罪による高額窃盗事案の増加は、安全・安心が脅かされると同時に、その被害額の大きさは小売業にとって極めて大きな経済的損失となり、企業経営に大変深刻な事態を招きます。

青少年の非行防止や高齢者の犯罪抑止、これら一過性の万引犯罪の抑止・防止活動は当協会の不变のミッションですが、悪質極まりない集団窃盗対策にも力を注ぎ、当協会として安全、安心、快適な社会作りに引き続き貢献したい」と語った。

その後議事に入つて、この甚大な経済的損失の軽減のために、当協会

第1号議案「平成28年度事業報告・収支決算の件」、第2号議案「平成29年度組織・人事の件」、第3号議案「平成29年度事業計画・收支予算の件」の順で報告され、承認された。平成28年度事業報告では、JEASの新活動宣言の発出、防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧めと題された冊子制作・配布などを紹介。平成29年度の事業計画として、ペースメイカーなど、医療機器装着者との共存を図るために活動、機器の信頼性アップの対策推進、所轄官庁・関連団体との連携強化などが挙げられた。